



患者さん 地域の皆さんとのコミュニケーション情報紙

# 済生みと

NO 45  
2022  
January

## 新春鼎談 新たなチャレンジの年に



診療案内 小児食物アレルギーの診療について  
小児科主任部長 貴達 俊徳

右のQRコードから当院のホームページに  
アクセスできます



水戸済生会総合病院 〒311-4198 水戸市双葉台3丁目3番10 TEL 029-254-5151 (代) FAX 029-254-0502

# 地域医療を支えるための 新たなチャレンジの年に

**出席者** 水戸済生会総合病院 院長 生澤 義輔  
病院ボランティア団体「野菊の会」代表 三田寺 澄子さん  
水戸済生会総合病院看護部主任 美野輪 由実子

新型コロナウイルス感染症への対応、激しく変化する社会経済情勢への適応など、病院はかつて経験したことのない様々な試練に直面しています。  
新しい年のスタートにあたり、病院ボランティアとして当院をご支援いただいた三田寺澄子さんをお迎えし、生澤義輔病院長、広報委員を務める美野輪由実子看護師とともに、当院の将来展望などについてお話しいただきました。



挑戦することが求められる時代です。【生澤】

**生澤** 本日は、皆さんと当院の今年の展望を語り合おうと言うことでお集まり頂きました。どうぞよろしくお願いたします。

**三田寺・美野輪** よろしくお願します。

**生澤** 今年は年明けから比較的穏やかな日々が続き、早咲き紅梅の開花も見られるようになってきました。

さて、昨年を振り返りますと、やはりコロナ対策に明け暮れた感があります。三田寺さんはじめ病院ボランティアの皆さんには、長年当院にお力添えをいただいておりますが、一昨年に続き残念ながら活動いただけない状況が続きましたね。

**三田寺** こんなに長い期間活動できない時期が続くとは、正直思ってもおりません。ボランティア会員の皆さんも自宅待機の状態が続き、相当ストレスが蓄積されたのではないかと思います。活動再開に向けて会員のモチベーションを維持する意味からも、郵送で資料を送るなどしてお互いの連絡を欠かさないようにしていました。

**生澤** コロナ禍の中で、コミュニケーションが薄れていく恐れはありますね。私たちも長い年月をかけて築き上げてきたボランティアの皆さんとの絆のようなものが細くなってしまっているのではないかと危惧しておりました。

**三田寺** 活動を休止している時に、病院の担当の方々から毎月お便りをいただいで



新人教育にはやりがいを感じます。【美野輪】

ただいています。コロナウイルス感染症対応となった病棟スタッフや発熱外来スタッフは、本当に精一杯でした。症例実績の無い業務への不安を抱えて自分を鼓舞しながら懸命に看護に当たったり、極寒あるいは酷暑に耐えながら屋外での外来業務に従事したりと、体力の限界近くまで頑張った、という声がたくさんありました。

**生澤** そうですね。ドクターや看護師の皆さんはじめ、職員全員の頑張りでここまで来られたという感があります。一昨年、当院は地域の基幹病院としてコロナ感染症の患者さんを受け入れることをいち早く決断しましたが、その際、初めてコロナ感染症の専用病棟を立ち上げたときに、多くの職員が率先して担当を志願してくれました。これは今でも忘れられません。

**三田寺** 美野輪さん担当の看護部での新人



防護服を着用しての新型コロナウイルス感染症患者の受け入れ



衛生材料作りを再開した「野菊の会」の皆さん。今年、発会以来初めてという男性会員の参加も。

たんです。病院の様子やコロナ感染の状況などが綴られているものを送っていただいて。それが私たちにとっては大変ありがたかったですね。まだ病院としっかり繋がっているんだなと。

そういう中で、昨年10月に患者さんとの接触機会のない衛生材料作りをまず再開することができました。再開初日は皆さん我が家に帰ってきたように喜んでいましたね、お互いに「おかえりなさい！」って。(笑)  
**美野輪** 私たち看護師もボランティアの皆さんには、さきほどの衛生材料の提供はもちろんな病棟での催しへの援助などで大変お世話になっております。様々な活動を再開していただける日が早く来ることを心待ちにしています。

研修も大変でしたでしょうか？  
**美野輪** 昨年の新人看護師は、コロナ禍中で病院での実習経験が無いまま入職してきた方がたくさんいました。中には、病院の事も病棟の実際も、看護師が現場でどんな仕事をしているのかも分かっていないという方も。

一般的に、病院での実習を経験した新人さんでも、実際に現場に配属されると「看護師って、こんな大変なことをやっているんだ」と戸惑う方もいます。思い描いていたものと現実の乖離によって生じるストレスをリアリティショックと言うのですが、これが原因で離職に繋がってしまうこともあるんです。看護部では例年、そうならないよう丁寧なサポートをしています。昨年はコロナ禍の影響で希望しているも病院実習を経験できなかった方たちが対象ですから、これまで以上に手厚いサポートが必要でした。当然、カリキュラム通りの研修ができませんから、皆で協力し、手法を工夫しながら何とか乗り切りました。

**三田寺** こんな状況はこれからも当分の間続くと思われていますね。

**生澤** 年明け以降、変異株のオミクロン株が驚異的なスピードで感染の勢いを増しつつあり、先の見えない状況が続いています。その影響を最小限に抑えるため、院内の対策本部を中心とする徹底した感染対策の継続や即応体制の維持、拡充を図ってきた関連診療機器類の活用、付随するスキルの蓄積など、これまで築き上げてきたものをさらに充実させながら、職員全員で対応に力を尽くして行きたいと思っています。

## 中核病院としての役割を 堅実に果たす

感染対策に配慮しながら  
楽しくお話が進みました。



三田寺 ところで、さきほど「病院は今大変」という私たち一般の共通認識があると申し上げましたが、激しく社会情勢が変わっていく中で、院長先生は将来に向けて、どのような病院を目指しておられますでしょうか。地域住民として皆、大いに関心を持っているところですので。

生澤 まさに時代は大きく動いています。波状拡大を繰り返すコロナウイルス感染症の影響により、我々の日常はすっかり様変わりしておりますし、医療に対する地域の方々の向き合い方も微妙に変化しているのではないのでしょうか。社会基調としての人口の減少や高齢化も進んでいます。加えて、患者さんの減少や運営面での諸問題も出現してきています。

生澤 そうした中で、当院のような病院に求められる役割についても、これまでの延長線上で安易に捉えることはできません。これまでの経験が通用しにくいという前提の上に、多くの課題に挑戦していくことが求められている時期だと思っています。特に、この2年間はいろんな問題に直面してきました、その思いを強くしましたね。

美野輪 現場の私たちも、それは肌身で感じますね。次から次へと経験していない課題への対応が求められる状態ですから。

生澤 それでもやはり、基本にあるのは「県央・東北地域の中核病院として、皆さんに信頼され質の高い医療を提供していく」と



重症の「大動脈弁狭窄症」に対する新しい治療法TAVI。当院では県央地区で初めて導入。

いうこと。これに変わりはありません。そのためには様々な課題に取り組んでいく必要があります。

まず、高度急性期医療機関として必要とされる高度な診療技術ですが、これはここ数年間でかなりのレベルアップができたと思います。特に循環器系ではカテーテル治療が進み、不整脈の治療、心臓の大きな血管の治療や弁の置換、補助ポンプ設置のよなもので行っています。

消化器外科では開腹せずに腹腔鏡というものを使う手術が一般的になっていまして、整形外科でもナビゲーションシステムを使用して人工関節の手術を行っています。部門は限られますが、ほぼ大学病院並みの治療ができるものもあります。

三田寺 難しそうなことがたくさん出てきました。私達にとっては、安心の上にもまた一つ安心がつくという感じです。どこの



重症者の救命に貢献している  
茨城県ドクターヘリ（右）と  
水戸市ドクターカー（左）

の方が急病でお困りになっている時には、どんな場合でも対応させていただこうという方針です。

救急関連では今年、施設の改編を中心に、受け入れ体制を強化していきます。昨年からは現在重症の患者さんを受け入れるICUを10床設けていますが、こちらは救急患者さん専用とし、本館2階の病棟をグレードの高いICUに改装する予定です。これまでは、病床の都合で受け入れが困難なケースが生まれてしまいうこともありました。かなり改善されるものと期待しています。

## 職場の総合力アップめざし 人材育成に注力

三田寺 治療技術の進歩や、さきほどの現場への急行など、看護師さんや他の方々も勉強や鍛錬が大変でしょうね。

生澤 人材は診療の要ですから。美野輪さんたちには大いに頑張ってもらわなくては。期待していますよ。

美野輪 看護師については、看護職教育体系に基づいた育成プログラムがあり、普通の年ですとこれに沿って研修を進めます。しかし、昨今の状況ではこれが難しくなっています。工夫しながら可能な範囲でとい



手法を工夫しながらの新人看護師の研修

う具合ですね。他の部門でも同じような状況だと思います。今年は少しでも状況が改善され、十分な研修を受けさせてあげたいと思っています。働きやすい良い職場には優れた人材があります。意欲を持った優秀な人材を送り出せるよう頑張りたいと思います。

## 新たな チャレンジの年に

三田寺 いろいろお伺いしてきました、現在の病院のことや目指しておられることも見えてきたように思います。

私達は決して若くはありませんが、(笑)元気ですし、意欲を持って活動しています。受付や会計窓口などで困っている患者さんを案内したり、車椅子を押ししたりと、かつて病院の中で活動していた日々が帰ってくるのを会員は皆待ち望んでいるんです。

院長先生の仰る病院の役割の中のほんの一部にでも、私達の活動がお役に立てればと願っています。

生澤 皆さんのお力は大きくありがたく思っています。よろしくおねがいします。

美野輪 新人看護師は入職してまもなく1年を迎えます。先輩スタッフの温かいサ

地域でも高齢者が増えてきましたから難しい治療も出てくるのでしょね。

生澤 人生100年と言われる時代。これに対応できるように積極的に取り組んでいきます。先程のカテーテルや腹腔鏡手術は体への負担が格段に軽くなります。これまで手術できなかったお年寄りにも受けていただけるようになりました。

## 救急受け入れ体制を 大幅に強化

生澤 また、当院は3次救急病院としての役割があります。主に重症の患者さんを対象に治療していますが、当院が基地病院となっているドクターヘリや水戸市ドクターカーはかなり地域のお役に立っていると思っています。重症の救急患者さんは初期治療が大切です。そこで患者さんの命がなくなるかどうか決まりますから。医師が直接駆けつけていって治療したり搬送先を判断することで、適切な治療ができた例はたくさんあります。

三田寺 看護師さんも同乗するんですね。ドラマなんかで見たことがあります。

美野輪 ヘリには特別な訓練を受けた看護師が同乗しています。フライトナースと言います。

三田寺 フライトナースですか。カッコいいですね(笑)

さきほどの救急のお話ですが、治療されるのは重症の患者さんだけですか。

生澤 基本はそうですが、私達はいつも「断らない救急」を目指しているんです。地域

ポートのもと、看護の現場で頑張り、今は遅く生き生きと働いている、そんな新人たちには本当に励まされます。今年はコロナ禍が少しでも収束に向かうことを祈りながら、私もいっそう職務に全力投球しなければという思いです。

生澤 2022年はまだまだコロナへの対応に大きなエネルギーを割かれると思いますが、引き続き病院の現在の資源をフルに活用して地域に貢献できるように、力を尽くして行きたいと思っています。同時に、将来を見据え、体制の整備や新しい時代に対応できる人材の育成を進めていきます。

医療環境と病院の役割・機能については種々議論がありますが、総合周産期母子医療センターを運営しつつ、隣接のことも病院と連携しながら県央・東北の高度医療・救急医療を担っていくというのが当院の揺るがない立ち位置です。これを踏まえながら、一歩ずつ安全で確実な医療を提供していく事が「地域と共に歩む」ことの実践となるでしょう。

今回のコロナ禍への対応を通じて感じるのは、病院のように比較的安定的な運営スタイルを持っていると思われる組織でさえ、生き物のように変化していかなければならぬということ。常に社会から求められる変化にすなやかに対応していくことが欠かせません。今年も様々な予期せぬ課題に遭遇することがあるかもしれませんが、全職員一丸となって立ち向かっていきたいと決意を新たにしています。

三田寺・美野輪 ありがとございました。

# 食物経口負荷試験のステップ例

**STEP 0**  
加熱卵黄: 1個相当

固ゆでたまご  
沸騰したお湯で12分間加熱  
1時間以内に取り出す

**STEP 1**  
周りに少し白身が残る  
加熱卵黄 1個相当

白身は  
使用しない

**STEP 1.5**  
加熱全卵1/8個相当

1/8  
全卵1/8個相当の  
ハンバーグ(例)

**STEP 2**  
加熱全卵1/2個相当

1/2  
全卵1/2個相当の  
ハンバーグ(例)

**STEP 3**  
炒り卵 1個相当

負荷試験が陰性(症状なし)だった場合に食べられるもの

固ゆで黄身のみ

卵黄つなぎの料理  
卵黄ポーロ  
ふりかけ

全卵加工品を少量  
(ドーナツ1/2個  
ウインナー2本程度)

全卵入り加工品  
ゆで卵1/2個

マヨネーズ  
卵焼き・炒飯  
プリンなど

学校・園での解除

## 鶏卵

**STEP 0**  
牛乳3mL (加熱)

3mL

**STEP 1**  
牛乳25mL (加熱)

25mL

**STEP 2**  
牛乳50mL (非加熱)

ヨーグルト48g  
(牛乳50mL相当)

**STEP 3**  
牛乳 200mL

200mL

負荷試験が陰性(症状なし)だった場合に食べられるもの

バター10g  
バター入り加工品

牛乳入り加工品

生クリーム  
チーズ少量

牛乳そのもの

学校・園での解除

## 牛乳

**STEP 0**  
うどん2g  
(4cm程度)

**STEP 1**  
うどん15g

**STEP 2**  
うどん50g

**STEP 3**  
うどん200g  
または パン1枚

負荷試験が陰性(症状なし)だった場合に食べられるもの

調味料

小麦加工品

パン1/4枚  
餃子 2-3個

6枚切れ食パン1枚  
パスタ

学校・園での解除

## 小麦

今年度は各種合わせて 300 件程度の負荷試験を実施できる見込みです。

# 小児食物アレルギーは 当院にご相談ください



水戸済生会総合病院  
小児科部長 貴達 俊徳

水戸済生会総合病院小児科、茨城県立こども病院小児アレルギー科(併任)で診療を担当しております。貴達 俊徳と申します。

茨城県立こども病院での後期研修終了後、アレルギー疾患対策の中心拠点病院である相模原病院で2年間小児アレルギーについての研修を受け、2021年4月に茨城に戻ってまいりました。

当院とこども病院で、食物経口負荷試験(以下、負荷試験)を積極的に推し進めており、1歳未満の乳児から重症度に関わらず、どなたでも受診いただける体制を整えています。

毎週火曜、木曜の9時から11時半まで、水戸済生会総合病院で小児アレルギー診療を含め、外来診療を行なっておりますので、患者さんには、紹介状を持参していただくか、直接来院してください。予約の必要はありません。

(直接来院された場合には、初診時に、通常の診療費用の他に選定療養費5500円が必要になります。)

受診される際の参考として、実際に負荷試験を行うときに対象食品を食べ進めていただく量(ステップ表)を次ページに掲載しました。ここに例示したものに限らずどんな食品でも負荷試験を行わせていただきますが、アレルギーの代表的な食品として、鶏卵、乳、小麦を例示してみました。

また、地域医療機関の先生方からは該当の患者さんをご紹介いただければと思います。ご紹介いただいた際には、負荷試験を行うごとに、レポートを送らせていただき、今後の診療にもお役立ていただけるよう十分な診療情報の提供を行います。

今後とも診療には全力を尽くしてまいりますので、よろしくお願ひ申し上げます。

## 当院での入院食物経口負荷試験

重症度に合わせて  
午前:分割or単回摂取  
午後:単回摂取

月曜:午前4人、午後4人  
金曜:午前4人、午後4人

	午前	午後
9:00	負荷前診察(外来)	
10:00	摂取開始	
11:00	(2回目摂取)	
12:00	昼食・説明	
13:00	外泊へ	負荷前診察(外来)
14:00		摂取開始
15:00		
16:00		説明→外泊へ
⋮		
翌日	帰院・退院手続き 平日、土祝日ともに10:30退院	

